

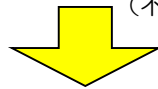
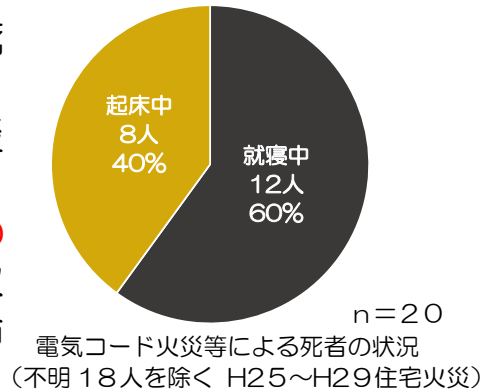
STOP! 電気火災

東京消防庁

住宅用火災警報器で早期発見

電気コード火災等による死者は不明のものを除くと、多くの方が**就寝中**に発生した火災により命を落としています。

住宅用火災警報器を**全ての居室・台所・階段**に設置し、火災を早期に発見することで、命を守りましょう。

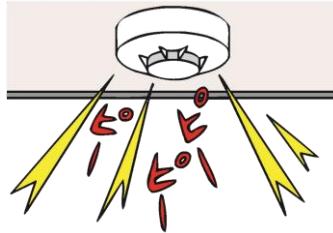


設置してよかった!

共同住宅の居住者（女性・60代）の居室で、長年、タンスの裏で使用していたコンセントから、トラッキング現象により発火し、火災となりました。居住者は、就寝中に住宅用火災警報器の鳴動音で目が覚め、火災を発見し、自宅の電話から119番通報するとともに、水をかけ初期消火を行い、火災の延焼を防ぎました。



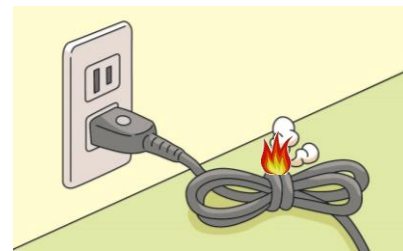
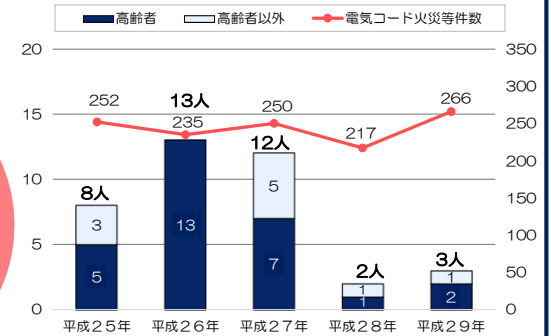
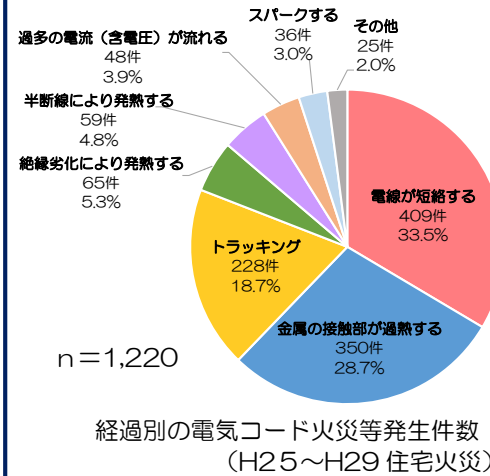
コンセントや電気コードの周りには、燃えやすいものを置かないようにしましょう!



身近にひそむ火災危険

電気火災とは、電気や電気製品にかかわる火災のことをいいます。

電気火災の中でも電線の短絡・トラッキング・半断線によって起こる火災（以下「電気コード火災等」という。）は、火を使用している意識がないため、火災に気づきにくく危険です。



次のページで電気火災の起こる仕組みを知って、火災を予防しよう!

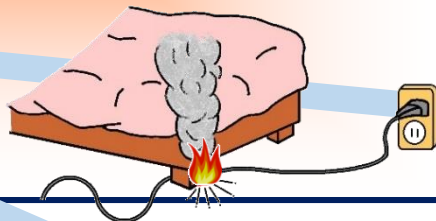
電線が短絡（ショート）・半断線する

電気コードの家具等の踏みつけ、束ねての使用、折れ曲がったままの使用は、コードの被覆の損傷や温度上昇、経年劣化による短絡（ショート）、半断線を引き起こし、火災の原因に！

電気コードを家具の下敷きにしない

束ねて使用しない

折れ曲がりに注意する



トラッキング

コンセントに差したプラグの差し刃間についたほこりが湿気を帯び小さなスパークを繰り返し、電気回路が形成され出火！



定期的に点検・清掃する

使わないプラグは抜いておく

見えにくい場所のコンセントは特に注意する

金属の接触部が過熱する

プラグがコンセントにしっかり差込まれていなかったり、プラグの差し刃が変形していたりすると、過熱して火災の原因に！



プラグはコンセントにしっかり差込む

プラグ・コンセントは変形等がないか定期的に点検する

過多の電流が流れる

タップを決められた容量以上で使用すると発熱し火災の原因に！

タップは決められた容量内で使用する

